

2019年度関西学連第5回総会 議事録

開催日時：2019年(平成31年)2月18日(月) 12:30~16:00

開催会場：京都大学 課外活動棟 C303

議事録作成者：副幹事長 桃本一輝

出席者(敬称略)

幹事長	藤本 拓也
副幹事長	太田 知也(途中退室), 桃本 一輝
事務局長	塚越 真悠子
競技部長	沖中 陽幸(途中退室)
広報部長	菅野 紘基
渉外部長	藤澤 はる那
普及部長	藤本 雄大
会計	小笠原 萌
阪大渉外	田中 駿行(途中参加)
京大渉外	木下 雄大
京女渉外	羽鳥 咲和
奈良女渉外	中川 真緒
神大渉外	石野 正晃
次期副幹事長	竹重 拓輝
次期競技部長	片岡 佑太
次期普及部長	山根 萌加(途中参加)
次期会計	市野 夢衣
次期阪大渉外	窪田 信司
次期京大渉外	土屋 祐太郎
次期神大渉外	高野 陽平

1. 来年度役員承認

来年度幹事	
幹事長	桃本 一輝
副幹事長	竹重 拓輝, 岩田慈樹
事務局長	太田 知也
競技部長	片岡 佑太
広報部長	永山 尚佳
渉外部長	上原 珠美
普及部長	山根 萌加
会計	市野 夢衣
全校承認	

来年度会計監査	
田中 優里	
出席幹事全員承認	

来年度諮問委員	
大阪大学	吉原 幸輝
京都大学	山本 明史
京都女子大学	金田 満帆
奈良女子大学	岡本 ひなの
神戸大学	佐藤 和真
全校承認	

2. セレクションのトレイン決定方法

2018年度ミドルセレクションは諮問委員にトレイン候補を挙げてもらい、各校承認を取ってもらい、総会で最終決定という形を取った。 同様に2019年度ロングセレクションではセレ実行委員会からトレイン候補を挙げてもらった。	
藤本拓	今後も実行委員にトレイン候補を挙げてもらう形でよいか。
京大: 実行委員が決める方式で問題なし。今回のようにトレインの決定基準は幹事長に任せるので良い	
阪大: 現行方式で問題なし。ただし距離より競技性を重視するなど、こちらである程度決める基準を定めておいた方が良い。	

神大：現行方式で問題なし。
京女：現行方式で問題なし。交通もそこまで考慮しなくてよい。
奈良女：現行方式で問題なし。セレの目的を考えると交通は重視しなくてもよい、またそのことを伝えて混乱するなら言わなくても良い。
藤本拓 セレ実行委員に候補を挙げてもらうので問題なさそうである。

・テレイン選定の観点

藤本拓	各校が距離よりも競技性を重視するというのであれば、その旨を実行委員の方に伝えれば良いだろう。
木下	今後は、話し合いを設けずその方針でやっていくのか。
藤本拓	一応、その都度総会で確認するべき。

3. スプリントセレについて

<p>昨年度のスプリントセレは OB・OG の独自運営 今年度は滋賀県協会に委託した、来年度についても他団体に委託する。 以前、現 4 年生に独自開催の可否を聞いた際に、OB・OG 2 年目も運営に加えてはどうか、という提案を受けた。</p>	
藤本拓	これについて、各校の意見はどうであったか
<p>京大：4 回生の意見としては、外部委託に頼っている現状は好ましくないが、OB 2 年目ともなるとどこまで運営に関われるかは分からない。 3 回生の意見としては、スプリントは競技不成立のリスクを含め運営負担が大きいので、できれば独自運営してもらいたい。 結論、現状ではパーク O の大会はそれなりに多く開催されているので、併設するので問題ないのではないかと。</p> <p>神大：2 年目も参加するので良い。</p> <p>京女：可能であれば 2 年目にも手伝ってもらった方が良い。1 年目のときに培ったノウハウも生かせるだろう。自分たちが 2 年目になった時も可能であれば手伝うつもりだ。</p> <p>奈良女：スプリントセレの運営が難しいというのは、ロングと時期が近いということがあると思うので、人数を増やしてそれが解決するならば 2 年目も加えた方が良い。</p> <p>阪大：2 年目に頼むかどうかを規約化する必要はない。優先順位として OB 1 年目→外部委託→OB 2 年目という順で頼めばいいのではないかと、という意見があった。</p>	
藤本拓	この問題は、来年度以降も必ず外部にセレクションを併設できる保証はないため、できれば独自開催できる仕組みを作った方が良いのではないかとということ

	で話し合ってもらったが、結局のところ2年目を入れたとしても確実に開催できるとは限らず、OB・OGに開催可能か毎年確認を取る必要はある。
沖中	現OB・OG2年目にこの前提であれば開催可能か聞いてみてはどうか。
藤本拓	実際の運用は、OB・OGに開催可能か聞く→無理そうであれば外部委託、という現状と同様の流れになるだろう。
	これはスプリントにだけ適用される。

・来年度スプリントセレ

藤本拓	来年度スプリンセレはみやこOLCに委託させていただくことになったので承認を取りたい。
全校承認	
藤本拓	現在決まっている事として ・主催はみやこOLC ・開催日は7/14(日)

4. 2019年度セレクション非常時の措置

藤本拓	女子は全枠推薦でよいと思われるが、男子は選手権者数が多いため全枠推薦は厳しいだろう。今年度中に方針だけでも決めておきたい。何か案や意見が出た学校はあるか。
<p>京大：関西は母数が少ないので、関東のような方法は難しい。</p> <p>阪大：・現行通りの全枠推薦でよい ・他大会に一定数枠を振っておく ・関東の方式を参考に、「京大」と「阪神」で枠を分ける ・推薦でも大会の優先度を決めておく ・セレクション前に他大会を予備セレクションに指定 といった案が出た。</p> <p>神大：関東の方法を参考にする。その場合大学ごとに枠を振り、諮問委員を通さず総会で決定すべき。</p>	
木下	ある程度案を整理した方が意見も出やすいだろう。
<p>①現行の推薦基準(優先度)を適用し推薦を行う</p> <p>②主要な大会に枠を振っておく(1～2枠程度)</p> <p>③関東の選考方法を参考に、「京大」と「阪神」に枠を分配して各大学で選出する</p> <p>④全枠推薦で主要な大会の順位を優先的に見る</p> <p>⑤予備セレクション大会を事前に指定する</p>	
藤本拓	各案について意見を出して欲しい。

<p>沖中</p>	<p>ミドルセレの議論にもあったが、上位は明らかなのでとりあえず①を採用すればよいのではないか。</p>
<p>上位層を選定するために①を採用することに決定</p>	
<p>以下各案に対する議論の抜粋である</p> <p>②</p> <p>石野：シンプルなのは②だろう。</p> <p>藤本拓：候補となるのは東大大会や東海インカレだろうか。</p> <p>羽鳥：事前に決める時点で大会の要項が出てない可能性はないか。</p> <p>藤本拓：関西学連の総会の時期を考えれば、それは問題ないだろう。</p> <p>対象大会は遠方の大会になるので各校がそれをどう受け止めるか。</p> <p>③</p> <p>沖中：前年度のインカレ成績を元にして枠を分配する場合、各年度によって大学ごとの競技力が変動するため反対である。</p> <p>藤本拓：関西は大学数が少ないので、年度毎の通過者における所属大学の割合の変化は大きい。</p> <p>石野：枠の割り振り方がその年度において適正であれば③でも構わない。</p> <p>沖中：直近の大会を参考にすると④で良いのではないか。</p> <p>片岡：当該年度のセレクション結果を参考にすると枠を分配するのであれば、参加しやすさという面で優位性がある。</p> <p>石野：大学ごとの話し合いと言っても、阪神で話し合うのは難しいかもしれない。</p> <p>④</p> <p>藤本拓：優先度を決めるといっても、諮問委員の負担は大きいままである。</p> <p>石野：具体的にどういう形になるのか。</p> <p>沖中：①の優先度に、他大会の結果を考慮する項目を追加するような形になると自分は解釈している。</p> <p>石野：それならばそこまで負担は大きくないのではないか。</p> <p>片岡：阪大では、大会ごとの比較をしやすくするために大会ごとの優先度をつけるべきという意見だった。</p> <p>桃本：④にするならば②で良いと思われるが。</p> <p>藤本拓：②にしても複数大会を指定することにはなるだろう。</p>	

藤本拓	<p>まとめると大枠としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インカレ上位者をセレ通過とする <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な大会を予備セレ or 参考にする <p style="text-align: center;">または・ 大学ごと(京大と阪神)に枠を振り分ける</p> <p>※後者の場合の枠の分配数は当該年度のもう一方のセレクション (例：ロングセレ不成立の場合はスプリントセレ)を用いて決定する</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残りの枠は諮問委員による推薦 <p>となるだろう</p>
石野	逆に上位層を推薦で通し，ボーダーの選手権者を結果で決めるのはどうか。
藤本拓	その場合，従来の推薦とは大分意味合いが違ってくるため，ボーダーにいる競技者を推薦で決める方がシンプルではあるだろう。
	<p>以上を踏まえ，次回総会までに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この大枠で問題ないか ・ この方針でいくとして，主要な大会で決めるのか(②,④)，または大学ごとに枠を割り振るのか(③). ・ (②,④)になったとしてどの大会を指定するのか <p>を各校で話し合ってもらいたい。</p>
	枠数の割り振りは次回総会で決める。

5. 3N計画について

沖中	兵庫県でのマスターズと来年度全日本大会でトレインが作られるため，喫緊性は無くなった。
	地元からの要請もあり，マスターズ前に兵庫で開かれる大会の調査費用を学連が出資する可能性がある。

6. 会計関連の見直し

・ 予算案提出について

関西学連の事業申し合わせでは，大会3か月前に予算案を提出することが義務付けられているが，実際はほとんど提出されていない。	
藤本拓	この規約について，各校どのような意見であったか聞いていきたい。
京大：3か月前は無理がある，提出義務は残して期限だけ変えた方がよい。	

<p>阪大：締め切りは変えるべき。学連から運営者に予算案提出を呼び掛けてほしい。 予算案提出のハードルが高いので、フォーマットを作ってほしい。</p> <p>神大：締め切りは変えるべき。</p> <p>京女：締め切りは変えるべき。</p> <p>奈良女：締め切りは変えるべき。提出締め切り日が、「要項公開日」等では不明確なので、「2か月前」等の分かりやすい期日が良い。</p>	
藤本拓	<p>ひとまず、現行の期限は変えるべきという意見は一致していそうである。</p> <p>改正後の提出期限について、申し込み開始後に参加費を変えるのは無理があるので予算案提出は、少なくともそれより前にすべきである。</p> <p>「予算案を提出しなければならず、提出した時点で参加費は確定しなければならない」という条文でどうか。</p>
石野	<p>予算案提出をする意義は何か？</p>
藤本拓	<p>不適切な支出がないか確認することにあるだろう。</p> <p>要項開始前に予算案を提出してもらい、承認後申し込みを開始できることにする。</p> <p>ひとまず、「大会開催3か月前までに予算案提出」という条文は、変更してよいか。</p>
<p>全校承認</p>	
藤本拓	<p>予算案の提出義務については今後周知していく。</p>

・新しい会計報告書

藤本拓	<p>現行の関西学連会計報告書は非常に使いにくいので新しいフォーマットを作った。特に問題なければ承認を貰いたい。</p>
中川	<p>交通費2の詳細も求めた方がいいのではないか。</p>
小笠原	<p>内訳も含め参加人数を書いた方が良いのではないか。</p>
藤本拓	<p>意見を参考にして修正し、幹事会で確認後、関西学連HPを更新する。</p>

・レシートの取り扱い

藤本拓	<p>レシート提出を求めることについて、各校どのような意見があったか。</p>
<p>神大：提出するべき。</p> <p>阪大：集めたとして、学連でチェックできるのか。</p> <p>奈良女：提出するべき、写真なら問題ないが、レシート現品が必要なら会計の動き出しが</p>	

	遅くなるため好ましくない。
藤本拓	今年度の一定では、公共交通以外は会計が集めていた。
塚越	二定でもレシートは集めていたが、チェックまではしていない。
藤本拓	現実的に、会計が全てのレシートをチェックするのは無理があるだろう。
小笠原	基本的には会計報告書に詳細を記載、レシートは大会側で管理し指摘があれば提出させるのでいいのではないか
藤本拓	では、会計報告書に曖昧な書き方があれば監査の方から内訳を聞き、不審な点があればレシートを提出、という形でどうか。
田中	レシートの保管期間はいつまでか。
中川	会計監査が完了するまででよいだろう。

7. 二定の赤字問題

藤本拓	まずは各校の意見を聞いていきたい。
京大	当初の予算案から、支出が大きく上回っているので全額出すのは好ましくない。 また、内訳が曖昧なため適切かどうか判断しようがない。 当初見込んでいた分の赤字額だけ補填すべき。
阪大	過去に同様の例があり、その時は補填されているため全額出して頂きたい。 また規則に従い予算案を提出したにも関わらず、補填されないのはおかしいのではないか。
神大	全額出して頂きたい。
京女	全額補填でもいいのではないか。
奈良女	全額出して頂きたい。今回の予算案は事前に学連の承認も受けているため補填されることに正当性はあると思われる。
藤本拓	今回の決定が前例になるわけではなく、次回以降は先にあったように予算案提出を義務付け、そこにはない支出は関西学連会計では扱わない。 京大の意見に関して、予算案が提出されていない現状では、補填の可否を予算外かどうかを考慮して決めるのには無理がある。
木下	規則で補填できる分(2万円)までは認めるが、それ以上の補填は反対である。
石野	現状を鑑みるに、予算案を元にして補填額を決めるのには無理がある。
藤本拓	これ以上話し合っても妥協点は見つからないと思われるため、ここで決を採りたい。全額補填で構わないか。
京大以外承認	
藤本拓	今後このようなことが無いように、予算案の提出と規約の順守を徹底するように学連側から呼びかける。

8. 各部局報告

藤本拓	各校適当なタイミングで、学連登録データベースの後任者登録をお願いしたい。関西学連に関しては引き続き、事務局長のアドレスで登録し、事務局長と幹事長で管理するので良いだろう。
	ワールドマスターズゲームズに関して、コースプランナー募集の要項は出ていたので各校共有しておいて欲しい。
	今年度全日本大会についても、運営協力の依頼があったので各校募集しておいて欲しい。
	学連関係の新歓日程について ・学連新歓→4/20 または 4/27 ・学連合宿→ゴールデンウィークのどこか
桃本	次回総会は学連新歓に行う予定である。